

Ⅲ 事業実施状況

1. 先天性代謝異常等検査実施状況

(1) 先天性代謝異常検査

区分 年度	初 回 検 査						再 検 査					精 密 検 査				
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果			
			正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	経過観察	陽性	陽性の内訳
19	7,233	103.5	7,117	100	0	16	265	251	13	1	0	1	1	0	0	
20	7,024	101.7	6,892	112	0	20	270	255	10	5	0	5	3	1	1	フェニールケトン尿症
21	6,756	102.0	6,631	115	0	10	286	273	10	3	0	2	2	0	0	
22	6,731	101.2	6,651	144	1	18	320	283	25	8	4	9	7	2	0	
23	6,647	103.7	6,523	88	0	36	281	261	17	3	0	3	2	0	1	先天性副腎過形成症

* 受検率は、初回検査数の出生数に対する率である。

(2) クレチン症検査

区分 年度	初 回 検 査						再 検 査					精 密 検 査			
	検査数	受検率	結 果				検査数	結 果				検査数	結 果		
			正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	疑陽性	陽性	検体不良		正常	経過観察	陽性
19	7,233	103.5	7,164	49	5	15	265	258	3	4	0	9	1	0	8
20	7,024	101.7	6,972	37	3	12	270	262	5	3	0	5	2	1	2
21	6,756	102.0	6,707	44	3	2	286	279	4	3	0	6	2	1	3
22	6,731	101.2	6,682	47	0	2	320	308	8	4	0	4	2	0	2
23	6,647	103.7	6,591	52	1	3	281	270	8	3	0	4	0	1	3

* 受検率は、初回検査数の出生数に対する率である。

2. 母子保健推進事業

(1) 母子保健評価運営委員会

種別	内容	月日
評価運営委員会	一部:山梨県健やか親子21推進 二部:山梨県HTLV-1母子感染予防対策	2月9日

(2) 保健所母子保健推進会議

保健所名	種別	内容	月日
中 北	母子保健推進会議	「すこやか親子21」推進	3月21日
	市町村担当者会議	二次相談事業の実施状況と他機関連携	11月9日
峡北支所	母子保健推進会議	保健所における受動喫煙対策・妊婦等の喫煙状況	2月10日
	市担当者会議	母子保健事業(主要事業・課題)	6月24日
		母子保健関係者研修会後の取り組み	12月19日
峡 東	母子保健推進会議	地域発達障害早期総合支援連絡協議会	7月25日
		地域発達障害早期総合支援連絡協議会	12月16日
		地域発達障害早期総合支援連絡協議会	3月5日
	市担当者会議	母子保健事業、5歳児健診のあり方等	6月13日
		5歳児健診あり方検討会	10月17日
		5歳児健診あり方検討会	3月23日
峡 南	母子保健推進会議	急病時の保護者支援に関する取り組みの現状	2月28日
富 士・東 部	母子保健推進会議	低体重児対策の経緯、人口動態の状況ほか	5月27日
		妊婦届出問診票データ分析結果の説明ほか	12月1日
		管内における妊婦と低出生体重児の関係ほか	2月24日
	市町村担当者会議	母子保健事業、乳幼児健康診査フォロー方法	12月1日

(3)研修

保健所名	内容
中 北	「母子保健における発達支援とは」 ころの発達総合支援センター所長 本田秀夫氏
	「健診場面における発達をみる視点・支援について」 ころの発達総合支援センター 臨床発達心理士 有泉風氏、保健師 齊藤由美子氏
	「妊娠中の生活習慣と、子どもの発育について」 山梨大学大学院教授 鈴木孝太氏
峡 北	「母子保健における発達支援とは」 ころの発達総合支援センター所長 本田秀夫氏
	「健診場面における発達をみる視点・支援について」 ころの発達総合支援センター 臨床発達心理士、保健師
峡 東	「発達障害児の保護者支援を考える」 NPO法人えじそんくらぶ 高山恵子氏
峡 南	「地域で見守られて子は育つ！～動機づけの心理学から～」 山梨県立大学教授 坂本玲子氏
	「乳幼児健診の情報の収集と利活用 ～気になる親子をキーワードとした分析結果について」 山梨大学医学部教授 山縣然太郎氏
富士・東 部	「乳幼児健診を基盤とした発達障害の早期発見・早期療育」 ころの発達総合支援センター所長 本田秀夫氏

(4)母子保健ライブラリー

母子保健に関する健康教育や保険指導等に活用できる専門図書、視聴覚教材、特殊模型、おもちゃ等を整備し
母子保健関係者等に閲覧、貸し出しをおこなう事業。

中北保健福祉事務所合同庁舎に設置。

区分 年度	閲覧者数	貸し出し 件 数	貸 し 出 し の 内 容(件数)			
			図 書	視聴覚教材	教材・おもちゃ	機 材
19	56	56	21	24	22	10
20	0	52	26	8	12	6
21	0	46	0	46	0	0
22	35	44	3	14	26	1
23	35	58	1	14	19	24

3. 母子保健地域組織(愛育会)育成

(1) 地域組織育成者等研修会

① 県実施

月日	内容	出席者数
9月27日	講義・情報交換 「愛育班活動及び運営への支援」 南アルプス市健康増進課 保健師 穂坂遼子 氏	16
10月12日	講義・演習 講義:「地域組織活動のアセスメント及び評価」 日本子ども家庭総合研究所システム管理室長 斉藤 進 氏	11
12月14日	講義・演習 講義:「地域組織活動の課題対応及び育成計画」 日本子ども家庭総合研究所システム管理室長 斉藤 進 氏	8

② 保健所実施

	内容	回数	出席者数
中 北	活動発表会、研修会	1	116
峡北支所	リーダー研修会	2	131
峡 東	活動発表会、研修会	1	42
峡 南	活動発表会、研修会	1	75
富士・東部	活動発表会、研修会	1	75

(2) 組織の状況

(平成23年6月30日)

保健所名	組織結成 市町村数	班 数	分班数	班員数	会員数
中 北	4	28	427	5,451	68,262
峡北支所	3	47	393	1,786	34,174
峡 東	2	10	66	471	13,430
峡 南	5	13	131	480	8,292
富士・東部	9	13	60	625	18,256
計	23	111	1,077	8,813	142,414

(参考資料) 平成23年度版 全国市町村愛育班名簿

4. 長期療養児療育指導事業(平成23年度)

(1) 療育等相談指導事業

① 相談回数

	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血友病等血液免疫疾患	神経筋疾患	慢性消化器疾患	その他長期療養児	計
実人数	17	21	13	12	85	10	14	7	10	10	6	72	277
延人数	26	24	24	16	94	13	15	7	10	11	6	118	364

② 相談理由

	相談結果			
	指導済み	経過観察	他機関紹介	その他
家庭看護	65	16	1	6
食事・栄養	16	1	8	0
歯科保健	11	0	0	0
福祉制度の紹介	7	3	2	0
精神的支援	23	7	5	0
学校等との連携調整	13	1	1	0
その他	39	6	2	0
計	174	34	19	6
養育医療給付児(再掲)	14	4	13	0
育成医療給付児(再掲)	28	2	1	0
小児慢性特定疾患給付児(再掲)	122	21	5	6

(2) 巡回相談事業

① 個別相談回数

	悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血友病等血液免疫疾患	神経筋疾患	慢性消化器疾患	その他長期療養児	計
実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
延人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6

② 集団相談

管内	相談者数	内容
富士・東部	131	理学療法士市町村巡回相談

(3)ピアカウンセリング

管内	回数	参加数	(再掲) 児	内容
中北	4	15	5	未熟児をもつ保護者同士の話し合い
富士	1	8	3	未熟児のつどい「先輩ママからの話」
計	5	23	8	

(4)交流会、学習会(平成23年度)

管内	回数	参加者数	(再掲) 児	内容
中北	1	2	2	悪性新生物児をもつ保護者のつどい
峡北	11	58	31	長期療養児の家族のつどい
峡東	2	43	13	口唇口蓋裂児の家族のつどい
	5	60	16	○ペアレントサポートプログラム 《対象》子ども(主に年長～小学校低学年)に発達障害等を疑う気がかりな問題が見られ、養育上の課題を抱える保護者
富士・東部	2	17	7	学習会、交流会「未熟児の成長発達について」

(5)支援関係機関(者)連絡会議(平成23年度)

管内	参加者		処遇検討したケース数	内容
	回数	人数		
中北	16	154	206	<ul style="list-style-type: none"> ・養育医療受給児退院前カンファレンス ・療育相談指導事業カンファレンス ・小児医療給付申請者の処遇検討 ・継続事例の検討
峡北	3	22	3	<ul style="list-style-type: none"> ・退院後の療養環境についての検討 ・学校入学にむけて医療体制についての検討
峡南	8	62	10	<ul style="list-style-type: none"> ・支援状況の情報共有および課題の検討 ・児の発達状況の見立てと支援方法の検討
富士・東部	5	51	82	<ul style="list-style-type: none"> ・養育医療、育成医療、小児慢性特定疾患事業給付児の支援の方向性の検討 ・低出生体重児の療育、低出生体重児の予防の検討
合計	32	289	301	

(6) 発達等母子保健専門相談(遺伝相談)(平成23年度)

①各保健所での保健師による一次相談

	相談 実件数		相談 延件数	相談来所 証人数	医師との 相談紹介
	来所相談	電話相談			
中北	5	1	4	0	3
峡北	10	10	0	13	0
峡東	0	0	0	0	0
峡南	0	0	0	0	0
富士・東部	1	1	0	2	1
計	16	12	4	15	4

(相談内容)

	相談件数	内 容
ア 子どもの発達に関する相談	3	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの発達に伴い病気についてどう説明するか ・子どもへの遺伝について
イ 疾患に関する相談	14	<ul style="list-style-type: none"> ・先天性奇形症候群の症状、経過、治療、次子の再発率について ・染色体異常と問題行動の関連について ・特定疾患の遺伝と内服薬が胎児へ及ぼす影響について ・特定疾患の遺伝と遺伝子検査について ・子どもへの遺伝の確率について
ウ 出生前診断に関する相談	1	<ul style="list-style-type: none"> ・出生前診断で分かること、検査機関、費用、結果への対応の仕方について
エ その他	4	<ul style="list-style-type: none"> ・染色体異常を持つ人の生活の見通しについて ・遺伝疾患の考え方について
計	22	

②医師による二次相談

相談申し込み保健所名	相談申込 件数	相談 実件数	相談 延件数	相談来所 延人数	相談 終了 実件数	相談 継続 実件数
中北	2	2	2	2	2	0
峡北	0	0	0	0	0	0
峡東	0	0	0	0	0	0
峡南	2	1	2	4	1	0
富士・東部	1	1	1	2	1	0
合計	5	4	5	8	4	0

(相談内容)

	相談件数	内 容
ア 子どもの発達に関する相談	1	・染色体異常をもつ子どもの成長・発達、療育方法について
イ 疾患に関する相談	2	・先天性奇形症候群の症状、経過、治療、次子の再発率について ・染色体異常と問題行動の関連について ・特定疾患の治療について
ウ 出生前診断に関する相談	2	・羊水検査のリスク、検査機関、費用、結果への対応の仕方について ・出生前診断で分かること、検査機関、費用、対応の仕方について
エ その他	4	・子どものターミナル期に対する保護者の気持ちについて ・染色体異常をもつ子どもの集団生活について ・染色体異常をもつ人の生活の見通しについて ・特定疾患をもつ子どもへの告知について
計	10	

5. 女性健康相談事業(平成23年度)

女性健康相談センター

年度	実相談人数		相談延件数	
	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談
19	34	6	51	8
20	38	4	53	6
21	28	5	41	5
22	23	3	40	3
23	10	395	18	399

平成19年8月開設、平成23年度より各保健所に窓口移行（特定不妊治療助成申請時の面接を充実

6. 不妊治療相談事業

不妊専門相談センター(ルピナス)

年度	実相談人数		相談延件数	
	電話相談	面接相談	電話相談	面接相談
16	144	46	206	100
17	94	52	175	105
18	83	61	152	105
19	100	53	194	107
20	70	31	148	78
21	55	34	107	91
22	56	22	157	61
23	71	22	170	64

平成16年4月開設(面接は専門医、心理が月1回で対応。要予約。電話は看護職による専門相談)

7. 特定不妊治療費助成事業

年度	実給付組数	延べ給付件数	新規給付組数(再掲)	給付金額
16	118	118	118	11,800,000
17	165	165	117	16,491,340
18	209	209	145	20,850,370
19	282	418	176	41,251,560
20	357	535	188	53,069,370
21	321	568	191	80,447,629
22	380	587	186	84,497,161
23	398	722	195	102,402,681

- ・平成17年度まで：1年度あたり10万円を限度に通算2年間助成
- ・平成18年度：1年度あたり10万円を限度に通算5年間助成
- ・平成19年度：1年度あたり1回10万円を限度に2回まで、通算5年間助成
- ・平成21年度：1年度あたり1回15万円を限度に2回まで、通算5年間助成
- ・平成23年度：1年度目は年3回まで、2年度目以降年2回を限度に通算5年間助成

8. 小児医療給付

(1) 妊娠高血圧症候群等治療助成事業

年度 区分	20	21	22	23
妊 娠 中 毒 症	1	-	-	-
糖 尿 病	-	-	1	-
貧 血	-	-	1	-
産 科 出 血	-	-	-	-
心 疾 患	-	-	-	-
合 計	1	0	2	0

(2) 養育医療給付状況

年度／生下時体重	21	22	23
～ 1,000g	23	29	19
1,001g ～ 1,500g	29	33	35
1,501g ～ 1,800g	35	24	28
1,801g ～ 2,000g	50	41	39
2,001g ～ 2,300g	3	9	1
2,301g ～ 2,500g	1	1	1
2,501g ～	1	3	3
合 計	142	140	126

(3) 小児慢性特定疾患治療研究事業給付状況

年度 区分	21	22	23
悪生新生物	70	76	79
慢性腎疾患	63	63	64
ぜんそく	41	43	42
慢性心疾患	43	41	37
内分泌疾患	293	287	280
膠原病	23	24	27
糖尿病	46	48	46
先天性代謝異常	26	26	30
血友病等血液疾患	25	23	23
神経・筋疾患	28	31	29
慢性消化器疾患	27	28	32
合 計	685	690	689

(4) 育成医療給付状況

区分		年度		
		21	22	23
肢体不自由	入院	23	27	19
	通院	38	27	26
視覚障害	入院	21	9	8
	通院	22	11	12
聴覚・平衡機能障害	入院	8	5	6
	通院	0	5	6
音声・言語機能障害	入院	74	45	41
	通院	93	124	121
心臓障害	入院	59	47	53
	通院	0	4	2
腎臓障害	入院	2	1	0
	通院	2	2	4
小腸障害	入院	3	4	1
	通院	1	3	1
肝臓障害	入院	0	0	0
	通院	0	0	0
その他の内臓障害	入院	22	12	16
	通院	21	8	14
免疫機能障害	入院	0	0	0
	通院	0	0	0
合 計		389	334	330

* 平成22年度から肝臓障害が追加

9. 未熟児養育医療指定医療機関・搬送用保育器等設置状況

(利用実績)

保健所	未熟児養育医療指定医療機関	搬送用保育器設置機関	19	20	21	22	23
中 北	国立甲府病院、県立中央病院、甲府共立病院、市立甲府病院、山梨大学医学部付属病院	国立甲府病院 (甲府市医師会)	4	59	1	4	26
		県立中央病院 (甲府市医師会)	54	34	59	62	69
		田辺産婦人科医院 (中巨摩医師会)	0	0	3	3	1
峡北		韮崎助産院 (北巨摩医師会)	0	0	0	0	0
峡 東		中村産婦人科医院 (東山梨医師会)	5	1	2	0	0
		長坂クリニック (笛吹市医師会)	0	4	3	1	0
峡 南	※H12年度より設置中止		—	—	—	—	—
富士・東部	富士吉田市立病院、山梨赤十字病院	山梨赤十字病院 (富士吉田医師会)	5	2	2	6	5
		都留市立病院 (都留市医師会)	0	0	0	0	0
計	7施設	8施設	68	100	70	76	101